

調 查 研 究

島根県沿岸における貝毒検査結果 (2015 年度)

川上優太・川瀬遵・林芙海・村上佳子・角森ヨシエ・黒崎守人

1. はじめに

島根県産のイワガキ、ヒオウギガイ、チョウセンハマグリ、アサリ、サルボウガイの毒化状況（麻痺性貝毒および下痢性貝毒の有無）を検査したのでその結果を報告する。

2. 材料および方法

2. 1 検体

検体は 2015 年 4 月～2016 年 3 月にかけて県内 4 地点（隠岐海域、出雲海域、石見海域、中海）から採取したイワガキ 21 検体、ヒオウギガイ 16 検体、チョウセンハマグリ 3 検体、アサリ 2 検体、サルボウガイ 1 検体の計 43 検体である。

2. 2 検査方法

貝毒（麻痺性および下痢性貝毒）検査は「食品衛生検査指針 理化学編」（2005 年、厚生省生活衛生局監修、社団法人日本食品衛生協会発行）に定める方法で実施した。なお麻痺性貝毒検査では体重 19～21g、下痢性貝毒検査では体重 16～20g の健康な ddy 系の雄マウスを用いた。

表 1 イワガキの貝毒検査結果

採取地域 (産地)	採取年月日	麻痺性貝毒 (MU/g)	下痢性貝毒 (MU/g)
隠岐 海域	2015/4/5	ND	ND
	2015/4/19	ND	ND
	2015/5/17	ND	ND
	2015/5/24	ND	ND
	2015/5/31	ND	ND
	2015/6/14	ND	ND
	2015/7/5	ND	ND
	2016/2/21	ND	ND
	2016/3/6	ND	ND
	2016/3/21	ND	ND
	2015/4/6	ND	ND
	2015/4/20	ND	ND
出雲 海域	2015/5/18	ND	ND
	2015/5/24	ND	ND
	2015/5/31	ND	ND
	2015/6/15	ND	ND
	2015/7/5	ND	ND
	2016/2/21	ND	ND
	2016/3/7	ND	ND
	2016/3/22	ND	ND
石見 海域	2015/7/24	NT	ND

ND:検出限界未満

NT:検査実施せず

3. 結果

3. 1 麻痺性貝毒

イワガキ（表 1）、ヒオウギガイ（表 2）、チョウセンハマグリ（表 3）、アサリ（表 4）、サルボウガイ（表 5）については全期間を通じ規制値（規制値：4.0MU/g（可食部））を超過した検体は認められなかった。隠岐海域のヒオウギガイから 0.17MU/g～1.19 MU/g の毒量を検出した（表 2）が、本県においてはヒオウギガイにおけるこの程度の毒量は過去にも見られており、ヒオウギガイは年間を通して少量の貝毒を保有しているものと考えられる。

3. 2 下痢性貝毒

イワガキ（表 1）、ヒオウギガイ（表 2）、チョウセンハマグリ（表 3）、アサリ（表 4）、サルボウガイ（表 5）ともに全期間を通じ毒化した検体は認められず、食品衛生法の規制値（規制値：0.05MU/g（可食部））を超える事例はなかった。

表 2 ヒオウギガイの貝毒検査結果

採取地域 (産地)	採取年月日	麻痺性貝毒 (MU/g)	下痢性貝毒 (MU/g)
隠岐 海域	2015/4/5	0.22	ND
	2015/4/19	0.28	ND
	2015/5/17	0.17	ND
	2015/5/24	0.18	ND
	2015/5/31	ND	ND
	2015/6/14	0.17	ND
	2015/7/5	ND	ND
	2015/8/2	0.23	ND
	2015/9/6	0.44	ND
	2015/10/5	0.51	NT
	2015/11/8	0.60	ND
	2015/12/6	1.19	ND
	2016/1/17	0.58	ND
	2016/2/21	0.60	ND
	2016/3/6	0.22	ND
	2016/3/21	0.22	ND

表 3 チョウセンハマグリの貝毒検査結果

採取地域 (産地)	採取年月日	麻痺性貝毒 (MU/g)	下痢性貝毒 (MU/g)
石見 海域	2015/4/3	ND	ND
	2015/5/15	ND	ND
	2015/5/29	ND	ND

表4 アサリの貝毒検査結果

採取地域 (産地)	採取年月日	麻痺性貝毒 (MU/g)	下痢性貝毒 (MU/g)
中海	2015/5/12	ND	ND
	2016/3/7	ND	ND

表5 サルボウガイの貝毒検査結果

採取地域 (産地)	採取年月日	麻痺性貝毒 (MU/g)	下痢性貝毒 (MU/g)
中海	2015/11/9	ND	ND